

## 「論理力」の17要素・学年系統

17要素		定義	重点
①	対話する力★	相手との対話の中で、さまざまな思考・表現を駆使し、新たな情報や課題を引き出す力。	低学年
②	発想する力	思いつく力	
③	比較する力	複数のことがらを対置させ、その共通点や相違点を列挙していく力	
④	分類する力	複数のことがらのある共通項に基づいていくつかの組に分ける力	
⑤	定義する力★	一つ一つの物事・現象を、明確な言葉で表現する力。そのために、辞書や図鑑などの正しい情報を活用する力。	
⑥	計画する力★	課題解決に向けて、段取りを立てたり計画を作成したりする力。	
⑦	記録する力★	既存しない情報を、自分で掘り起こして、粘り強く記録する力。	
⑧	収集する力★	本・インターネット・インタビューなどで、必要な情報を粘り強く集める力。	
⑨	選択する力☆	相手・目的・場面に応じて、適切なものを選び出す力	
⑩	説明する力	考えの根拠やことがらの内容を明確に表す力	
⑪	分析する力	あるものごとを分解して、それを成立させている成分・要素・側面を明らかにしていく力	中学年
⑫	検討する力	ある観点から詳しく調べ、その特徴を明らかにする力	
⑬	推論する力☆	個別に存在しているものの中から、共通項(同一性)を識別し、規則性を発見したり、規則性を他のケースに当てはめたりする力	
⑭	説得する力	相手の理解を深め、納得させる力	
⑮	評価する力 (※批判的思考)	そこに表されていることが果たして現実に照らし合わせて適当なものであるかどうかの適合性について判定する力(本当にそうかな?と見直す力)	高学年
⑯	構成する力	複数の要素を組み立ててあるものを作り出す力	
⑰	論証する力	一つのことをら課題として提起し、次にその解決のための考え(仮説)を出し、さらにその正しさを調べてみる。(検証ー実験・調査)という順序で論を進めていく力	

※広島県安芸高田市立向原小学校の研究を基礎に。

★印は、本校独自設定。☆印は、本校で改訂。

対話	相手との対話の中で、さまざまな思考・表現を駆使し、新たな情報や課題を引き出す力。
発想	思いつく力
探求	自ら計画し段取りを立て、自ら動いて情報を記録・収集していく力。
理解	文章・図表・画像などの様々な情報に表された内容を読解する力
判断	内容の真偽性や考えの筋道の妥当性について判断する力
表現	事実や考えを、筋道立てて表現する力